

平成18年度
当初予算案の概要

京都府



予算編成の基本方針

4月の知事選を控え、骨格的予算として
継続事業を基本に編成

(大きな改正を要する施策・新規事業  6月に)

重点

◆府民の安心・安全を守るための4つの緊急課題に積極的に対応

「京都府経営改革プラン」を計画的に推進



当初予算の規模

一般会計予算 2.2%

対前年比 97.8%

(7,980億円台)
(8,168億円)

【参考】

地方財政計画 99.3%



府民の安心・安全を守る4つの緊急対策

「人・間中心」の京都づくりのために

1. 緊急こども対策
2. 福祉対策
3. 中小企業・農家対策
4. 安全確保対策



4つの緊急対策の必要性

□ 子どもをとりまく環境

〔宇治等の事件や少子化問題〕

□ 新しい法制度への対応

〔障害者自立支援法施行
介護保険法の大改正
品目横断的経営安定対策の導入〕

□ 新条例の施行

〔伝統と文化のものづくり産業振興条例
地球温暖化対策条例
食の安心・安全推進条例〕

□ 災害等への対応

□ 京都市をはじめ市町村との協調事業を優先



1 緊急こども対策

交番を中心に子ども・地域安全見守り隊
の活動を支援

発達障害児支援のための教員配置
(府市協調 100人)

小児救急医療体制を整備

長期入院児の家族付き添い負担軽減

児童手当の支給対象の拡大

(府負担 15億円 44億円)



子ども・地域安全見守り隊

交番を中心として、全小学校区(440カ所)でPTAやボランティアなどから成る子ども・地域安全見守り隊を支援

支援内容

既設置の見守り隊 → 希望に応じた資機材等の提供

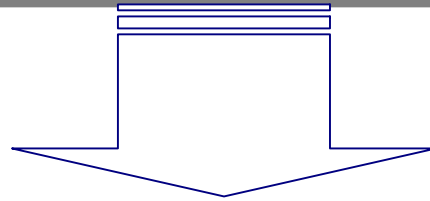
未設置の学区 → 見守り隊の結成を支援し、資機材等を提供

交番、小学校、見守り隊の協力で地域の防犯力を向上



発達障害児支援のための教員配置

LD (学習障害)、ADHD (注意欠陥・多動性障害) 等の発達障害児童・生徒への対応



学習面や生活面で、教育的支援が必要

指導実績のある教員OBや発達障害の研究を行う大学院生等を派遣した手厚い指導を行うため、京都市と協調して100人を配置



2 福祉対策

障害者緊急対策

障害者負担の緩和
自立支援策の充実

高齢者世帯緊急対策

高齢者世帯負担の緩和



障害者負担の緩和

◆在宅福祉サービス等について、利用者負担増

所得が一定以下の方について、3年間の暫定措置(市町村との協調事業)

- 在宅福祉サービス・補装具給付・医療費の各々の負担上限月額を国制度の原則1/2に
- 独自に所得階層を細分化し負担を緩和
(在宅福祉サービス 4階層 6階層 ほか)
- 上記サービスの負担合計についても、総合上限制度を設定

都道府県レベルでは全国初



障害者負担の緩和例

例) 収入が年間80万円以下の在宅障害者

	在宅福祉サービス	補装具給付	医療費(更生)
現 行	0	0	0
国 制 度	15,000	15,000	2,500
府 制 度 (府1/2市町村1/2)	7,500	7,500	1,250
総合上限制度 (府1/2市町村1/2)	7,500		

府制度



障害者自立支援策の充実

◆府施設にハート(まごころ)ショップ
の開設

◆障害者IT作業所の開設

◆共同作業所への支援強化

(運営費助成単価1,000円/人月増)



高齢者世帯負担の緩和

- ◆負担を緩和する3年間の暫定措置
(市町村との協調事業)
- ◆特養等入所者(配偶者が施設外に居住している方に限る)への支援(負担上限額を設定)

例) 多床室の場合

食費、居住費 (改正前) 2.6万円 / 月
(改正後) 5.2万円 / 月
(府制度) 3.0万円 / 月



3 中小企業・農家対策

伝統と文化のものづくり産業振興補助金の創設

中小企業地球温暖化対策応援事業の推進

中小企業金融対策の推進

匠の公共事業の推進

中小企業体質強化対策（試作産業の振興等）

中山間地域等特産物育成事業



伝統と文化のものづくり産業振興補助金

◆ 伝統と文化のものづくり産業の振興を図るため、立地に対する補助金を創設

- 指定地域に立地する伝統産業関係中小企業の建物・設備整備に15%助成(その他は10%)
- 新光悦村については、小規模区画分譲等の特例を設定



中小企業地球温暖化対策応援事業

◆中小企業者の温室効果ガス削減対策を促進する総合的な支援を実施

- 温室効果ガス排出抑制設備導入助成
- 環境マネジメントシステム(KES等)の取得助成
- グリーン購入の導入促進



4 安全確保対策

災害

府立学校等耐震改修の計画的な推進等
(府立高校耐震費 8億円 18億円)
地下駅火災対策の推進

治安 交通

警察官の増員等
(警察官の増員 30人 40人 70人)
自転車マナーの向上対策

健康

新型インフルエンザへの対応
(タミフル購入 3億円)
中北部の医師確保対策(府立医大に10名)

食

食の安心・安全登録制度の創設等
牛海綿状脳症(BSE)検査体制の充実



平成18年度当初予算の財政フレーム

歳入

◆府税	+ 250億円
◆地方交付税等	330億円
(うち平準化分)	110億円)

歳出

◆退職手当	+ 40億円
-------	--------

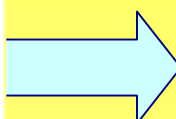
当初時点の財源不足

270億円

390億円の財源不足

基 金	260億円
(平準化調整分等を含む)	
退職手当債	40億円
経営改革	90億円

府債発行の抑制



実質府債残高の抑制

実質プライマリーバランスの黒字化

(+127億円)



経営改革プランの計画的な推進

1 給与費プログラムの推進

◆総人件費の抑制（職員数の削減等）

2 公債費プログラムの推進

◆実質投資的経費を抑制

3 指定管理者制度の導入 17億円程度

府民サービスの向上
施設運営の効率化（運営経費 約 15%）

4 ファシリティマネジメントの推進 7億円程度

庁舎スペースの有効利活用
未利用地等の利活用と処分の促進

5 集中と選択による施策の見直し 55億円程度

◆事業の廃止・休止、削減



「人・間中心」の京都づくりの着実な推進(1)

学びと育みの京都づくり


 京の子ども学力充実総合推進事業
子育てサポートセンター ほか

健やか長寿の京都づくり

健康長寿日本一の推進

ほか

活力の京都づくり

 ブランド京野菜等倍増戦略事業
丹後織物ルネッサンス事業 ほか



「人・間中心」の京都づくりの着実な推進(2)

環境・文化創造の京都づくり

- 地球温暖化対策推進事業
- 新 国民文化祭に向けた京都文化力向上事業
- 新 みどりの屋根づくり推進事業 ほか

安心・安全の京都づくり

- 新 消防広域化等推進事業
- 由良川、大手川等の改修
- 新 新東山警察署建設計画
- 新 医科大学外来診療棟等建設事業 ほか



「地域戦略予算」の着実な推進

山城

京都山城「宇治茶の郷づくり」
科学好き・ものづくり好きな子どもの育成
ほか

南丹

おしゃれ観光南丹プロジェクト
南丹ふるさと帰農支援
ほか

中丹

由良川ゆうゆう・いきいき・元気推進
中丹健康長寿の風土づくり
ほか

丹後

リフレッシュエリア丹後の推進
丹後旨いもんづくり支援
ほか